

農業



令和5年5月号
会誌 No. 1703

目次

巻頭言

健康的で快適な生活環境を目指して……………林田 直樹 3

論壇

スマート農業の「今」そして「これから」……………野口 伸 4

農事功績者座談会

生・消交流，水稲アイガモ同時作，産地提携，……………藤本 勲 6
伝統行事の復活
—明るく楽しいモデル農家づくり挑戦！—

表彰農家訪問

先進技術の導入とデータを活用した効率的なミカン生産……………長谷川美典 21
—香川県三豊市仁尾町に吉田哲士さんを訪ねて—

食を楽しむ

おいしすぎるおやつ……………本田 明子 29

研究の最前線

日本人の食感表現と官能評価……………早川 文代 30

農業・農村の現場から

盆栽の輸出拡大に向けた生産体制の強化……………中屋敷 彩 40

世界の農業は今

モンゴルの養蜂の現状と技術協力……………千場 英弘 45

私の経営と志

新潟県長岡市栃尾地域の中山間で稲作経営……………千野 俊輔 51
—中山間地域の就農者を増やしていきたい—

農家の気持ち

大豆生産農家のみそ仕込みワークショップ！……………稲澤エリナ 53

東京農業大学収穫祭から（Ⅲ）

途上国の発展と開発を考える……………国際農業開発学科農業開発経済学研究室 54
—農村貧困の所得向上と投資・販路—

農政情報

…………… 58

編集部から…………… 58

令和4年度「飼料用米多収日本一」受賞者…………… 59

大日本農会だより…………… 60

会誌『農業』に関するアンケート

表紙写真説明

森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす 琵琶湖システム（滋賀県）

2022年7月、琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が、国連食糧農業機関（FAO）の「世界農業遺産（GIAHS）」に認定されました。

「琵琶湖システム」は、表紙写真にある伝統的な琵琶湖漁業の代表格である「エリ漁」をはじめ、水田に遡上する湖魚を育む「魚のゆりかご水田」、ニゴロブナと近江米から生まれた「ふなずし」などの食文化、また、琵琶湖の環境に配慮した「環境こだわり農業」や、水源となる森林の保全活動などによって形づくられる農林水産業の営みです。

社会的、経済的、生態学的な変化に適応し、形を変えながら千年以上にもわたって受け継がれてきた森・川・水田・湖のつながりは、世界的にも大変貴重なものであり、将来にわたり維持していくための取り組みが、多様な主体の参画の下になされています。

（写真および文：滋賀県農政水産部農政課企画・世界農業遺産係）